図解 勧工場に行こう!

明治初期から中期にかけて「勧工場(勧業場ともよばれた)」という店が多くできた。勧工場は、1つの建物を小さい部屋に仕切り、いろいろな商人に貸して全体を運営するもので、人が多く集まるところにつくられた。

京橋勧業場
1902(明治35)年に東京市内にあった勧工場は27で、そのうちの7つが京橋区(→p.89)にあった。右の絵はそのなかの1つ、京橋勧業場のようすを表したもの。

商品は残りものだった?!

はじめての勧工場は、1878(明治11)年に永楽町(現・千代田区丸の内)につくられた。商品は第1回内国勧業博覧会に出された品物で、日本に古くから伝えられる美術工芸品などだった。

第1回内国勧業博覧会(→p.70)
1877(明治10)年8月21日から11月30日にかけて、東京の上野公園で開催された。殖産興業政策の1つで、技術向上のために開催された博覧会。

人の流れを平等にするために、日によって入り口と出口を逆にした。入り口付近に店があるのとないのとでは、売り上げの差が大きかった。